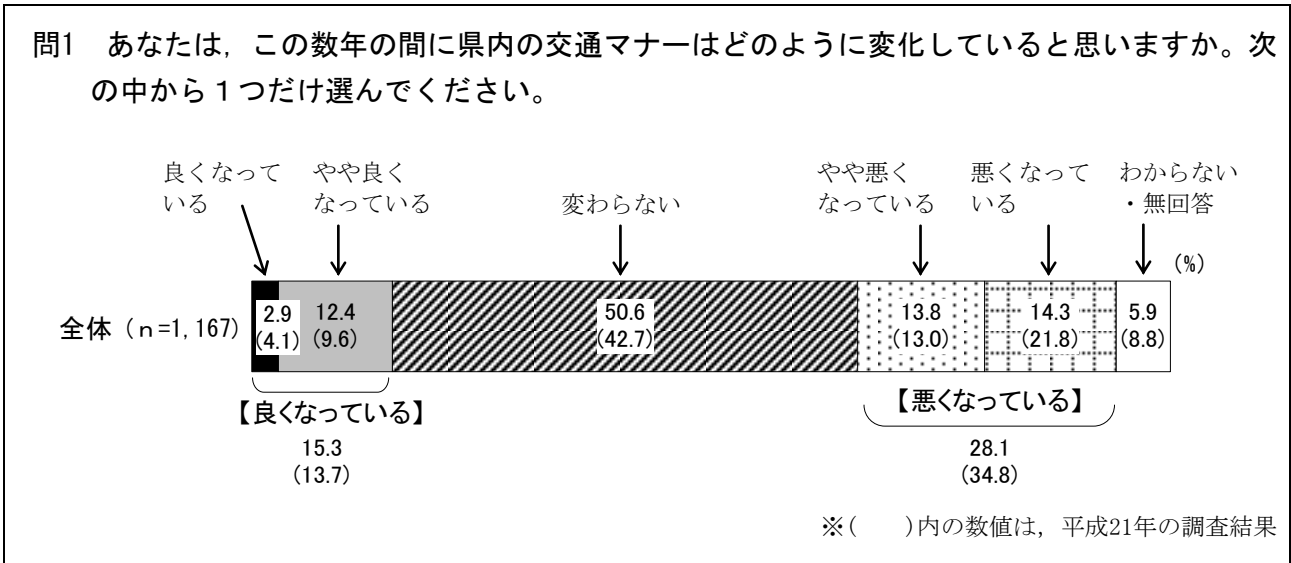


X 交通マナー

1. 県内の交通マナーの状況

—「変わらない」が約5割，【悪くなっている】が約3割—



県内の交通マナーの状況については、「良くなっている」(2.9%)と「やや良くなっている」(12.4%)を合わせた【良くなっている】(15.3%)は、1割台半ばとなっている。一方、「やや悪くなっている」(13.8%)と「悪くなっている」(14.3%)を合わせた【悪くなっている】(28.1%)は、約3割となっている。

前回調査に比べると、「変わらない」が約8ポイント増加し、【悪くなっている】は約7ポイント減少している。

—【悪くなっている】は県西以外の地域で3割前後—

地域別でみると、【悪くなっている】は、県西(20.6%)で約2割と最も低く、それ以外の地域では3割前後となっている。一方、【良くなっている】は、鹿行(20.0%)と県西(18.7%)で2割前後と比較的高くなっている。

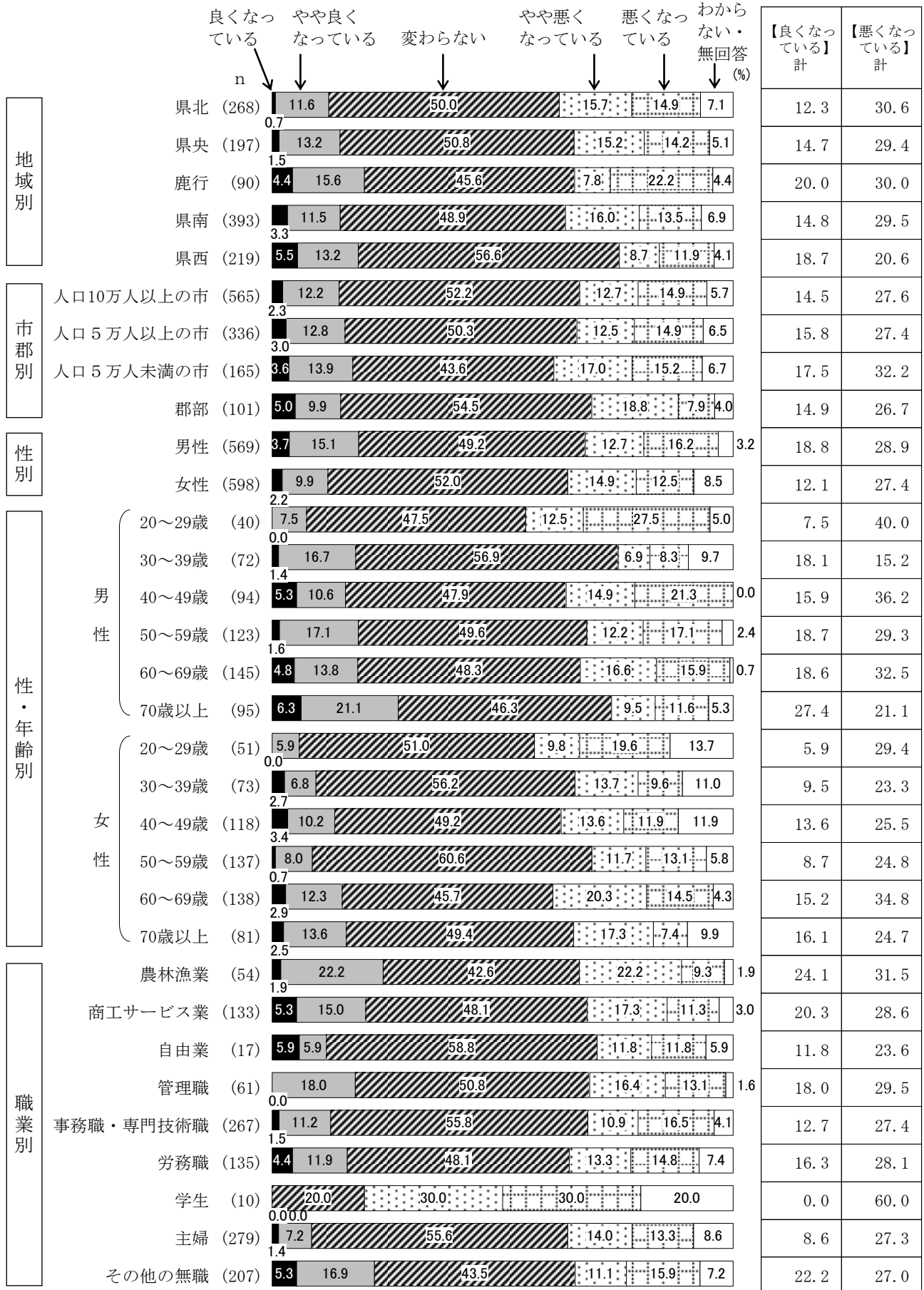
市郡別でみると、【悪くなっている】は、すべての層で3割前後となっている。

性別でみると、【良くなっている】は、男性(18.8%)が女性(12.1%)よりも約7ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、【悪くなっている】は、男性の20代(40.0%)で4割と最も高く、男性の40代(36.2%)と女性の60代(34.8%)で3割台半ばとなっている。一方、【良くなっている】は、男性の70歳以上(27.4%)で約3割と高くなっている。

職業別でみると、【悪くなっている】は、すべての職業で3割前後となっている。一方、【良くなっている】は、農林漁業(24.1%)、その他の無職(22.2%)、商工サービス業(20.3%)で2割を超えて高くなっている。

図X 1-1 県内の交通マナーの状況（地域別，市郡別，性別，性・年齢別，職業別）

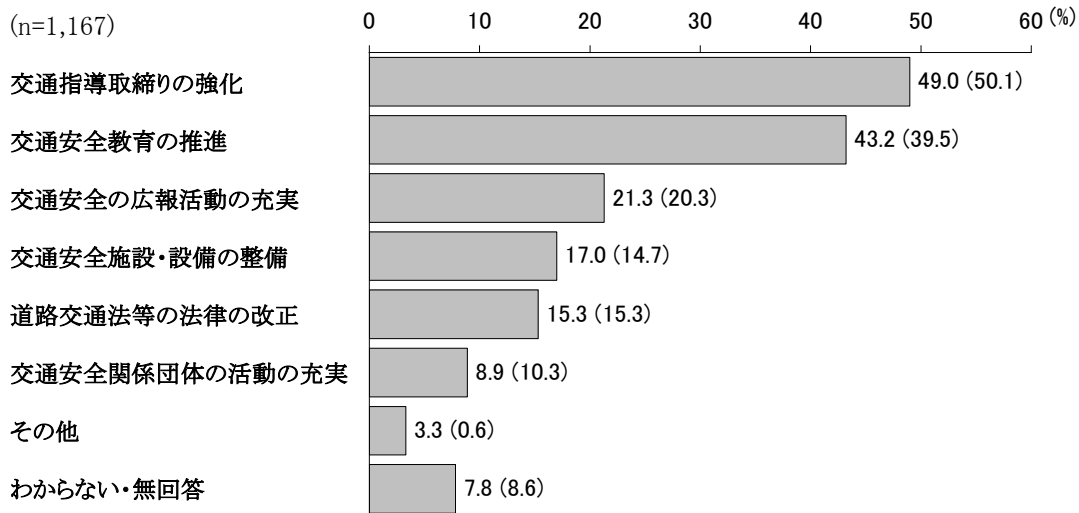


(注) 自由業及び学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。

2. 交通マナー向上のために県が取り組むべきこと

—「交通指導取締りの強化」が約5割、「交通安全教育の推進」が4割台半ば—

問2 交通マナーを向上させるために、県が力を入れて取り組むことはどのようなことだと思いますか。次の中から2つまで選んでください。



※()内の数値は、平成21年の調査結果

交通マナー向上のために県が力を入れて取り組むべきこととしては、「交通指導取締りの強化」(49.0%)が約5割と最も高く、次いで、「交通安全教育の推進」(43.2%)が4割台半ば、「交通安全の広報活動の充実」(21.3%)が2割台、「交通安全施設・設備の整備」(17.0%)と「道路交通法等の法律の改正」(15.3%)が1割台で続いている。

前回調査と比べると、「交通安全教育の推進」が約4ポイント増加している。

—「交通指導の取締りの強化」は鹿行で5割台半ば—

地域別でみると、「交通指導取締りの強化」は、鹿行(54.4%)で5割台半ばと最も高く、県北(50.0%)、県央(49.2%)、県南(50.9%)で5割前後となっている。「交通安全教育の推進」は、県西(37.4%)以外の地域で4割台半ばとなっている。

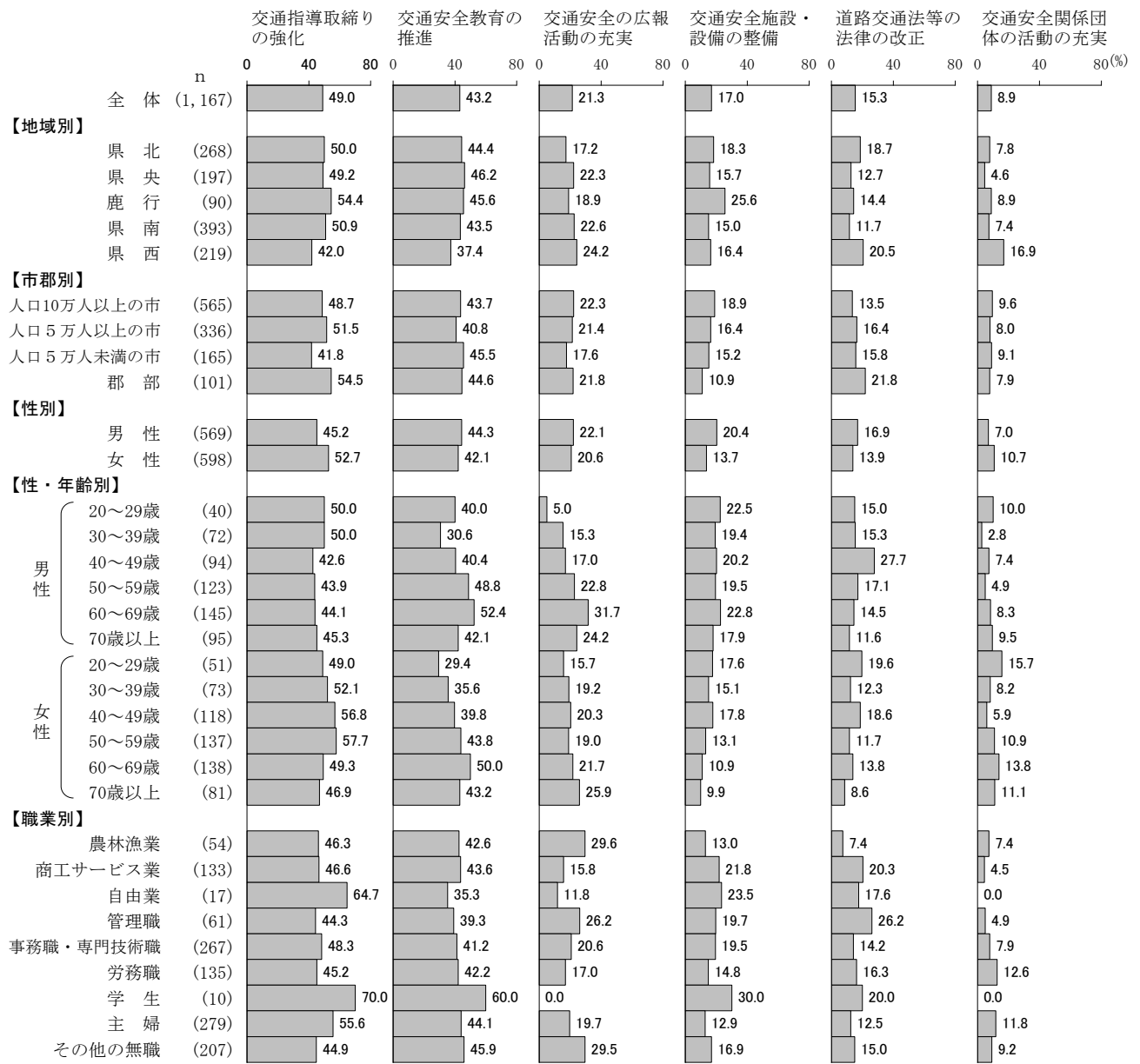
市郡別でみると、「交通指導取締りの強化」は、郡部(54.5%)で5割台半ばと最も高く、人口10万人以上の市(48.7%)と人口5万人以上の市(51.5%)で5割前後となっている。「交通安全教育の推進」は、すべての層で4割を超えている。

性別でみると、「交通指導取締りの強化」は、女性(52.7%)が男性(45.2%)よりも約8ポイント高くなっている。一方、「交通安全施設・設備の整備」は、男性(20.4%)が女性(13.7%)よりも約7ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「交通指導取締りの強化」は、女性の40代(56.8%)、50代(57.7%)で5割台半ばを超えて高くなっている。「交通安全教育の推進」は、男女の60代で5割を超えている。

職業別でみると、「交通指導取締りの強化」は、主婦(55.6%)で5割台半ばと高くなっている。

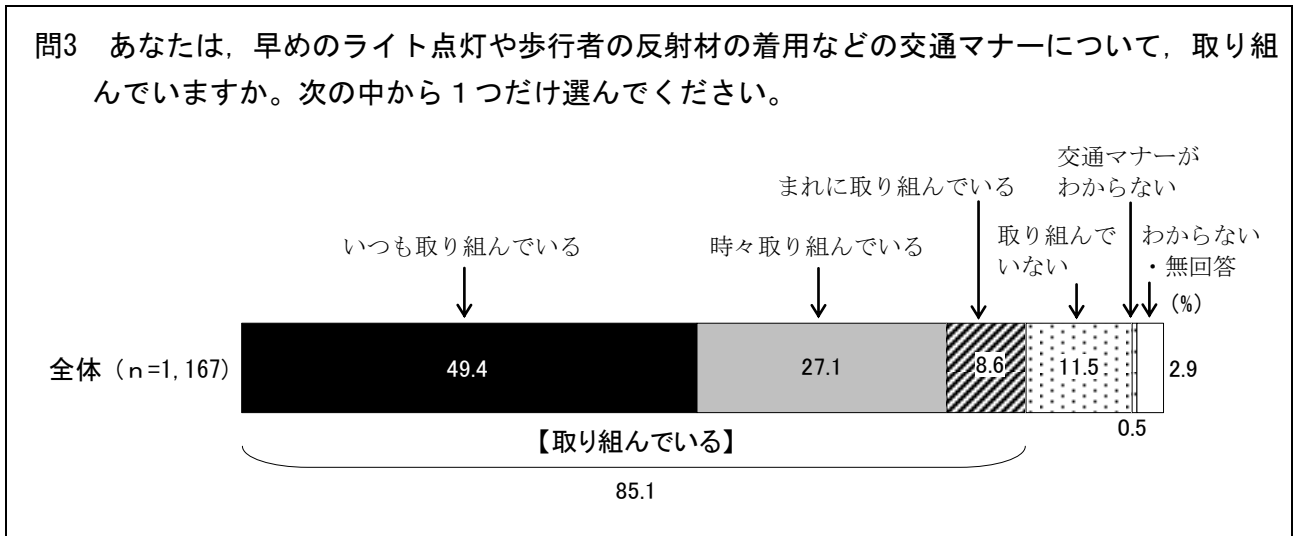
図X 2-1 交通マナー向上のために県が取り組むべきこと
(地域別, 市郡別, 性別, 性・年齢別, 職業別)



(注) 自由業及び学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。

3. 交通マナーへの取り組み状況

—【取り組んでいる】が8割台半ば—



交通マナーへの取り組み状況としては、「いつも取り組んでいる」(49.4%)、「時々取り組んでいる」(27.1%)、「まれに取り組んでいる」(8.6%)を合わせた【取り組んでいる】(85.1%)は、8割台半ばとなっている。一方、「取り組んでいない」(11.5%)は、1割を超えている。

—【取り組んでいる】はすべての地域で8割を超える—

地域別でみると、【取り組んでいる】は、すべての地域で8割を超えて高くなっている。

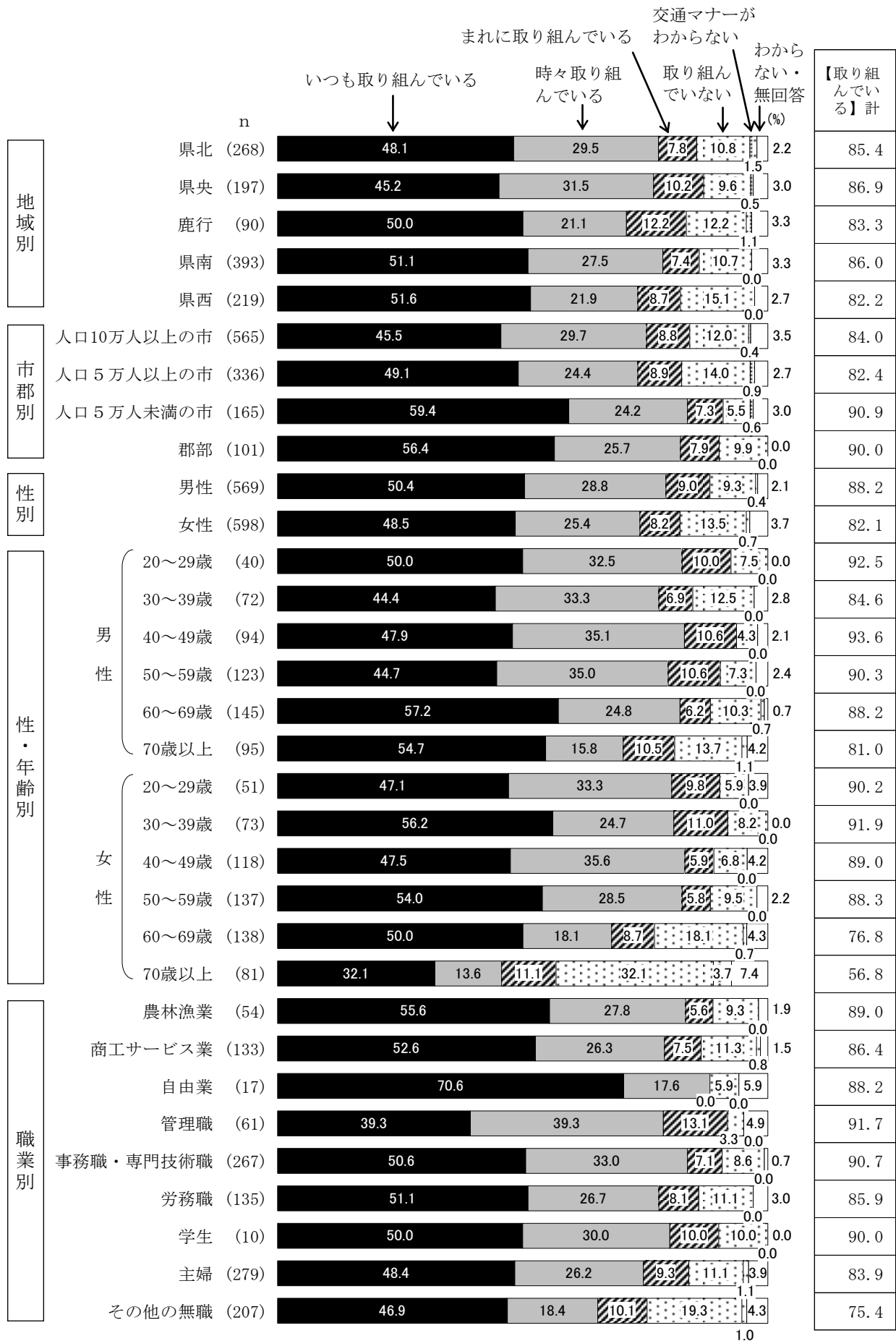
市郡別でみると、【取り組んでいる】は、人口5万人未満の市(90.9%)と郡部(90.0%)で約9割と高くなっている。

性別でみると、【取り組んでいる】は、男性(88.2%)が女性(82.1%)よりも約6ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、【取り組んでいる】は、男性の20代(92.5%)と40代(93.6%)、女性の20代(90.2%)と30代(91.9%)で9割を超えているが、女性の70歳以上(56.8%)では、5割台半ばと最も低くなっており、「取り組んでいない」(32.1%)が3割を超えている。

職業別でみると、【取り組んでいる】は、管理職(91.7%)と事務職・専門技術職(90.7%)で9割を超えているが、その他の無職(75.4%)では7割台半ばと低くなっている。

図X 3-1 交通マナーへの取り組み状況（地域別，市郡別，性別，性・年齢別，職業別）



(注) 自由業及び学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。

